

団体概要

<DAYS JAPAN とは>

フォトジャーナリズム月刊誌「DAYS JAPAN」は2004年3月20日イラク戦争開戦1周年の日に創刊されて以来、世界で何が起きているのかを写真で伝える情報誌として発刊されてきました。

また、2005年より、写真賞「DAYS 国際フォトジャーナリズム大賞」を毎年開催しています。本写真賞の受賞者からは複数のピューリッツァ賞受賞者も出ています。写真賞審査員として、本誌編集長の広河隆一のほか、江成常夫氏（写真家）、熊切圭介氏（フォトジャーナリスト）、池田香代子氏（翻訳家）、大石芳野氏（フォトジャーナリスト）、レネ・C・バイヤー氏（フォトジャーナリスト、DAYS 国際フォトジャーナリズム大賞およびピューリッツァ賞受賞者）がいらっしやいます。また、昨年亡くなられた筑紫哲也氏やマグナム元会長のフィリップ・ジョン・グリフィス氏も最終審査員としてご協力をいただいております。来年は新たに、山田洋次監督、姜 尚中氏（東京大学教授）、加藤登紀子氏（歌手）が最終審査員となることになっております。

なお、2007年に「横浜国際フォトジャーナリズム・フェスティバル」を赤レンガ倉庫1号館や開港記念会館で開催しました。写真展、ワークショップ、音楽イベント、シンポジウム、スライド講演を実施し、総勢約7000名が参加しました。引き続き、DAYS JAPAN 創刊5周年と開港150周年を機に、今年も本イベントを実施するはこびとなりました。

DAYS JAPAN 賛同人

安齋育郎 板垣雄三 江成常夫 川島進 斎藤貴男 管洋志（故）筑紫哲也 奈良原一高 福島菊次郎 森住卓 池澤夏樹 伊藤千尋 大石芳野 熊切圭介 坂本龍一 立松和平 土井敏邦 野町和嘉 古居みずえ 吉田レイ子 池田香代子 井上ひさし 大塚敦子 栗原達男 佐高信 田沼武能 東松照明（故）灰谷健次郎 本多勝一 綿井健陽 石井竜也 生方卓 落合恵子 桑原史成 佐藤文則 丹野章 豊田直巳 林克明 松本徳彦 石川文洋 江川紹子 加藤登紀子 小林正典 新藤健一 土屋右二 中村征夫 広瀬隆 桃井和馬（敬称略 50音順）

<S.A.L とは>

本イベントの協力団体である S.A.L（Send Aid Learn）は、慶応義塾大学を本部に置く学生団体です。活動の目的は「世界を取り巻く国際問題の現状を広い視点から理解し、学生である私たちが今行うべき国際社会貢献を常に考え、実践していく。活動を団体内だけに留まらず周囲に波及させ、外部の国際社会に関心ない人、関心あってもきっかけを掴めずに行動をおこせない人にも機会を与え、戦争や貧困のない世界へとつなげていく」ことです。2008年12月、横浜桜木町駅構内にて DAYS JAPAN 写真展を開催したことをきっかけに DAYS JAPAN と横浜国際フォトジャーナリズム・フェスティバルをつくりあげることになりました。

・活動実績

2009年2月	スタディツアー カンボジア寺子屋 子どもたちに写真を教える
2008年12月	DAYS JAPAN 写真展 横浜桜木町駅構内
9月	スタディツアー イスラエル （ユダヤ教とイスラム教の対立が色濃い現地の生活を体験）
その他	フリーペーパー発行 慶應義塾大学文化祭でのフェアトレードカフェ出店